

史跡 北黄金貝塚

縄文の丘

KITAKOOGANE

1 縄文の丘 北黄金貝塚

国指定史跡北黄金貝塚は、有数の貝塚分布地帯として知られる噴火湾の東岸にあります。縄文時代前期（約6,000～5,000年前）の台地上の貝塚と低地の水場遺構を中心とした集落遺跡です。指定面積の87,539.88㎡中には貝塚のほか、住居跡や墓、鹿用落とし穴、盛土遺構、水場の祭祀場が発見されています。

丘全体に縄文人の生活の跡が残る北黄金貝塚。ここはまさに縄文の丘といえます。



B地点貝塚

北黄金貝塚の中で一番古い貝塚。貝の種類から当時は今よりも温暖な気候だったことがわかりました。



貝塚から出てくるもの

貝塚からはシカの角や骨でできた道具が貝に含まれたカルシウム分の作用で腐らずに出できます。



A' 地点貝塚

貝塚の中からは縄文人の墓が見つかりました。これまでに14体の人骨が発掘されました。



水場の祭祀場

生活に欠かせない水が湧き出るこの場所は神聖な場所だったようです。ここでは使わなくなった道具を供養した跡が見つかりました。



縄文時代中頃の住居

縄文時代中ごろの人々は、それまで丘の上にあった生活の場所を湧き水の近くへと移しました。



